

学校の沿革の概要

明治 8 年 7 月 白羽村立白羽小学校と称し、増船寺を校舎にあてて創立
昭和 16 年 4 月 国民学校令により白羽国民学校と改称
昭和 30 年 3 月 御前崎村と白羽村の合併により御前崎町立白羽小学校と改称
平成 16 年 4 月 御前崎町と浜岡町の合併により御前崎市立白羽小学校と改称

昭和 32 年 1 月 給食室 1 棟新設完全給食開始
36 年 1 月 鉄筋 2 階建校舎 1 2 教室落成
40 年 12 月 校歌制定
41 年 7 月 旧校地にプール完成
41 年 11 月 国語科学研賞受賞
44 年 9 月 校章制定, 校旗作製
48 年 8 月 体育館落成
49 年 10 月 開校百年祭を挙行
55 年 3 月 新校舎完成・入校式
57 年 9 月 目の健康体操実践協力校・県表彰
59 年 9 月 学校給食優良校：文部省表彰
61 年 3 月 浜の子広場造園
平成 2 年 3 月 新プール落成
3 年 10 月 文部省指定「体力づくり」研究発表会
4 年 11 月 日本学校体育研究連合会表彰 5 年 2 月 自学の像建立
5 年 3 月 校地内に防災倉庫設置
7 年 10 月 郡教育協会教科等研究発表会
9 年 9 月 パソコン教室設置
10 年 6 月 あさしおごはん看板設置
10 年 11 月 健康優良推進校：学校保健会表彰置
11 年 7 月 空調設備設置 (校長室・保健室・職員室・視聴覚室・印刷室・事務室)
13 年 3 月 体育館落成 (太陽光発電)
15 年 2 月 南校舎落成
17 年 2 月 「まおまお」ケーブルTV設置
18・19 年 文部科学省指定「心に響く道徳教育推進事業」センター校
19 年 9 月 北校舎外壁全面塗装・屋上防水シート張り替え
11 月 文部科学省指定「心に響く道徳教育推進事業」研究発表会

学区の概要

御前崎市白羽は、牧之原台地が太平洋に向かって突きだし、南を遠州灘、東を駿河湾とに分ける静岡県最南端に位置し、北は菊川市、牧之原市に接し、西は浜岡地区を経て掛川市に続いている。地域は、かつて「かつお漁」と「さつまいも栽培」を主としていたが、近年、工場の進出や輸出港としての御前崎港の発展、道路網の整備に伴い、会社や官公庁への勤める人が大半となった。

学校は、海と富士山が見え、緑の大自然に囲まれた美しい環境にある。地域の人々は、人情豊かで、学校に対しても大変協力的である。学区は、東から順に新谷・薄原・中原・白羽・白浜・新神子の 6 地区である。